

付 録

1. 測定データ等のまとめ

1) 川俣町

表 1 川俣町での測定結果 (2 種類の個人線量計の比較)

図 1-1～1-5 川俣町での測定結果

図 1-6 川俣町で家屋内外の NaI シンチレーションサーベイメータ測定結果

2) 田村市

表 2-1 田村市における個別訪問日と訪問先

表 2-2 田村市において読み出したデータの積算線量

表 2-3 田村市の老健施設での測定結果

図 2-1 測定結果の例(1)

図 2-2 測定結果の例(2)

図 2-3 測定結果の例(3)

3) 伊達市

表 3-1 伊達市での測定結果

4) 宮城県丸森町

表 4-1 丸森町での測定結果

表 4-2 丸森町での測定で記録されたはずれ値と思われる値 ($5 \mu\text{Sv/h}$ 以上) の一覧

2. 技術検討会議事録

1) 第 1 回議事録

2) 第 2 回議事録

3) 第 3 回議事録

3. 協力依頼文書・配付資料等

1) 田村市

・ 個人線量計による被ばく線量測定結果ご説明のための個別訪問のご協力をお願い

2) 伊達市

・ 調査へのご協力をお願い

・ 行動記録票

3) 丸森町

(事前説明会)

・ 調査へのご協力をお願い

・ 行動調査票イメージ (簡易版)

・ 行動調査票イメージ (詳細版)

(操作説明会)

- ・ 調査目的と概要
- ・ 行動調査票（簡易版）書き方見本
- ・ 行動調査票（詳細版）フェイスシート書き方見本
- ・ 行動調査票（詳細版）書き方見本
- ・ 行動調査票（簡易版）
- ・ 行動調査票（詳細版）フェイスシート
- ・ 行動調査票（詳細版）

(結果説明会)

- ・ 丸森町測定結果説明
-

表1 川俣町での測定結果 (2種類の個人線量計の比較)

No.	測定期間	積算線量 (μ Sv)		平均線量率 (μ Sv/h)		最大線量率 (μ Sv/h)		
		DOSEe-nano	D-シャトル	DOSEe-nano	D-シャトル	DOSEe-nano (10分間値)	DOSEe-nano (1時間値)	D-シャトル
1	1/17 17:00~1/18 16:00	2.556	2.83	0.111	0.12	0.756	0.392	0.43
2	1/17 17:00~1/18 16:00	2.678	2.76	0.116	0.12	0.636	0.317	0.39
3	1/18 8:00~16:00	1.356※	1.53	0.169※	0.19	0.642※	0.367※	0.42
4	1/18 8:00~16:00	1.721	1.74	0.215	0.22	1.044	0.481	0.48
5	1/18 8:00~16:00	1.282	1.46	0.160	0.18	0.846	0.337	0.32

※：はずれ値 (1カ所；2014.01.18 15:40 32.904 μ Sv/h) があったため、その時間の値は、その時間1時間の平均値とした。

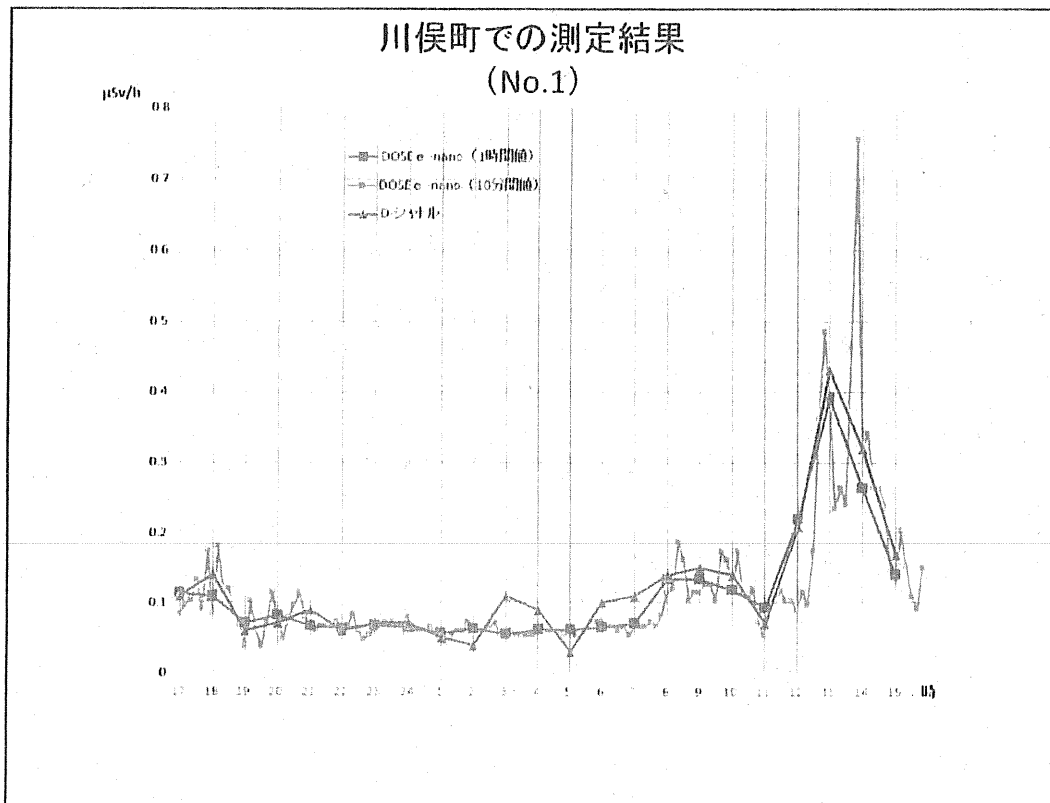


図 1-1 川俣町での測定結果 (No.1)

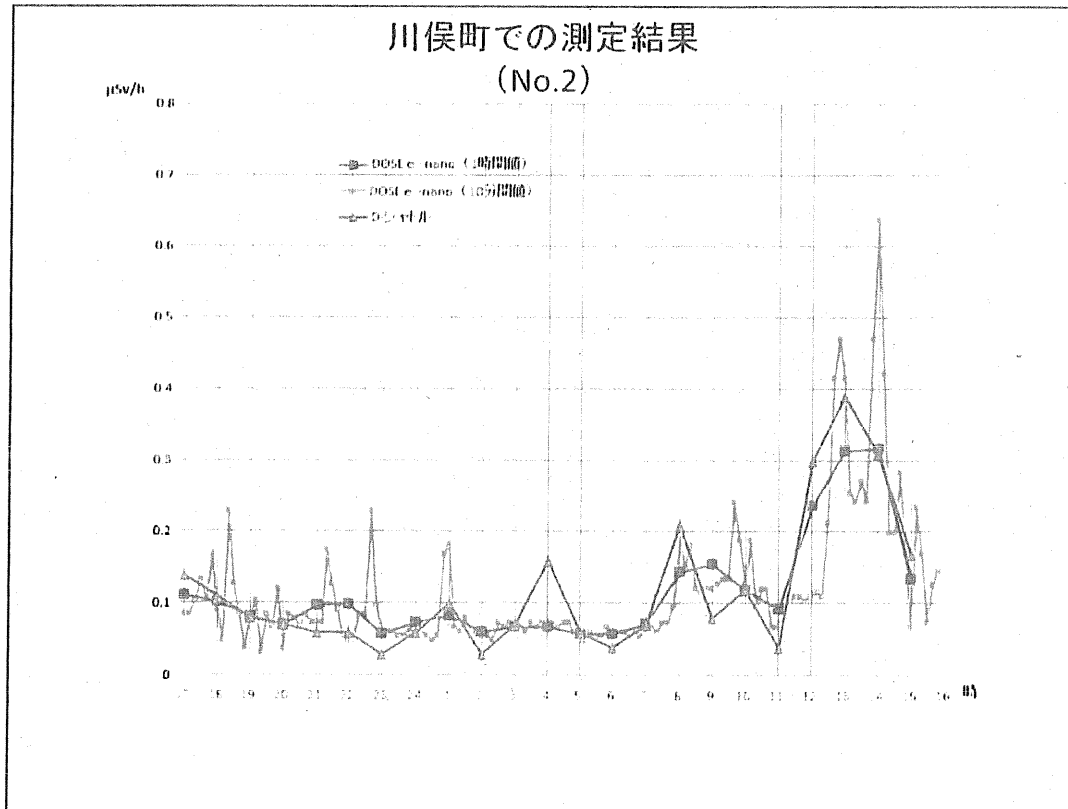


図 1-2 川俣町での測定結果 (No.2)

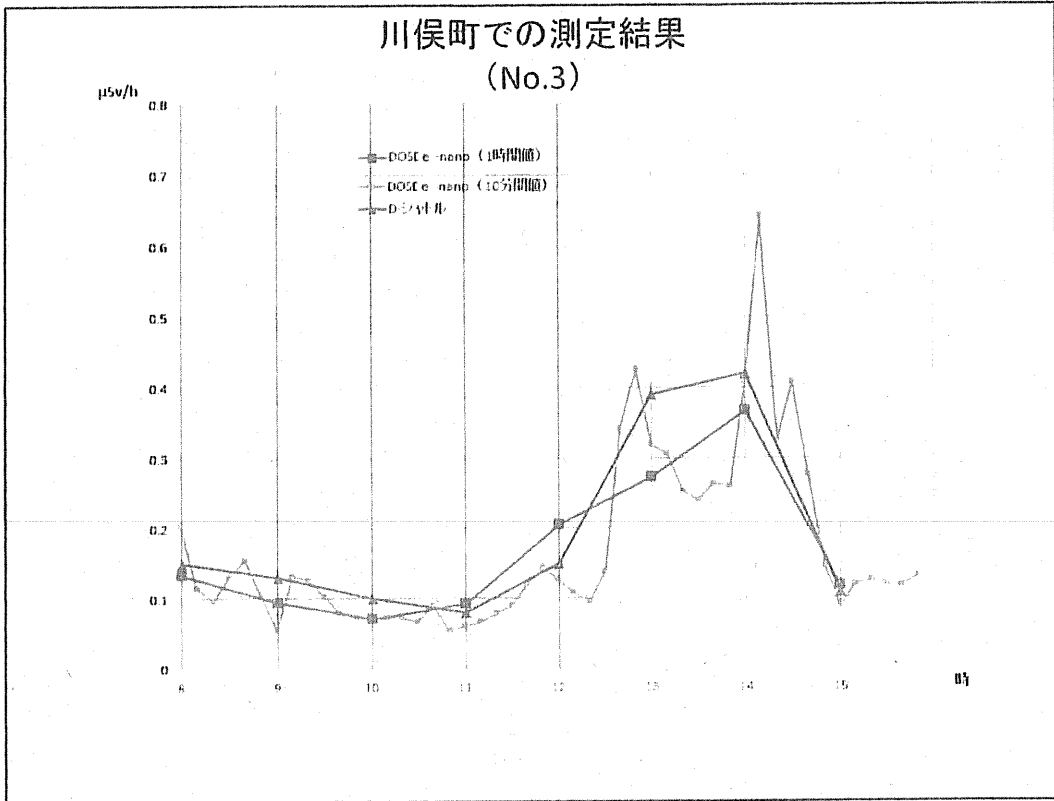


図 1-3 川俣町での測定結果 (No.3)

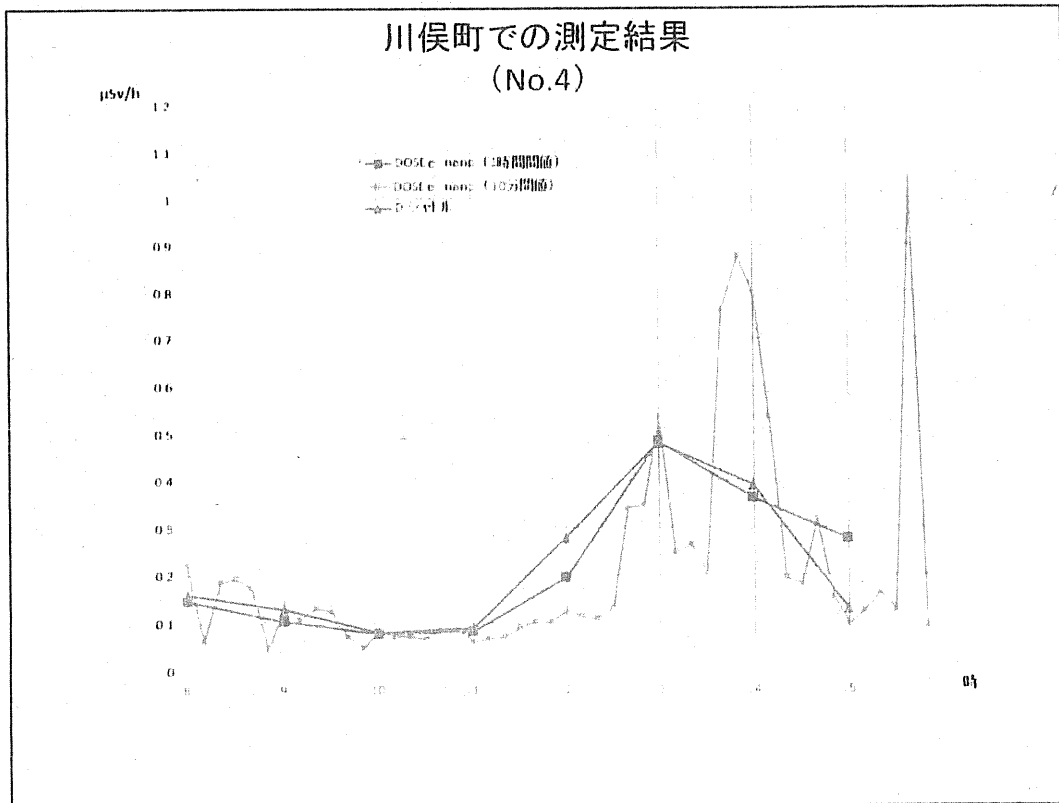


図 1-4 川俣町での測定結果 (No.4)

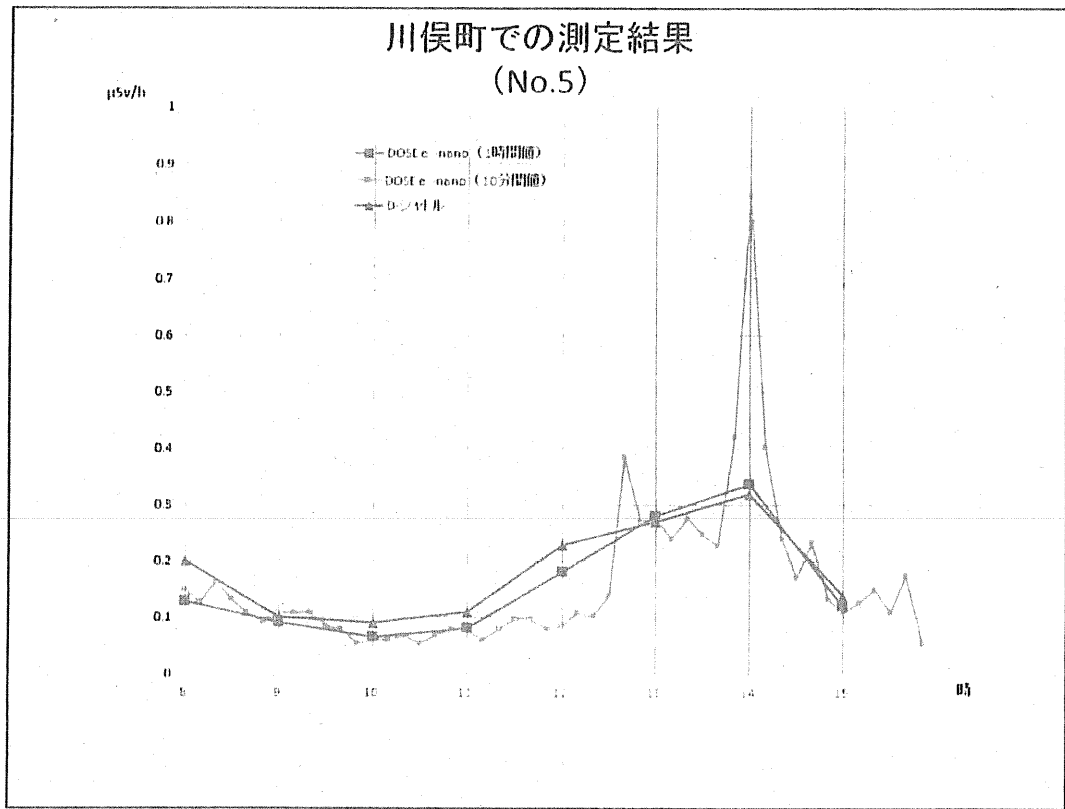


図 1-5 川俣町での測定結果 (No.5)

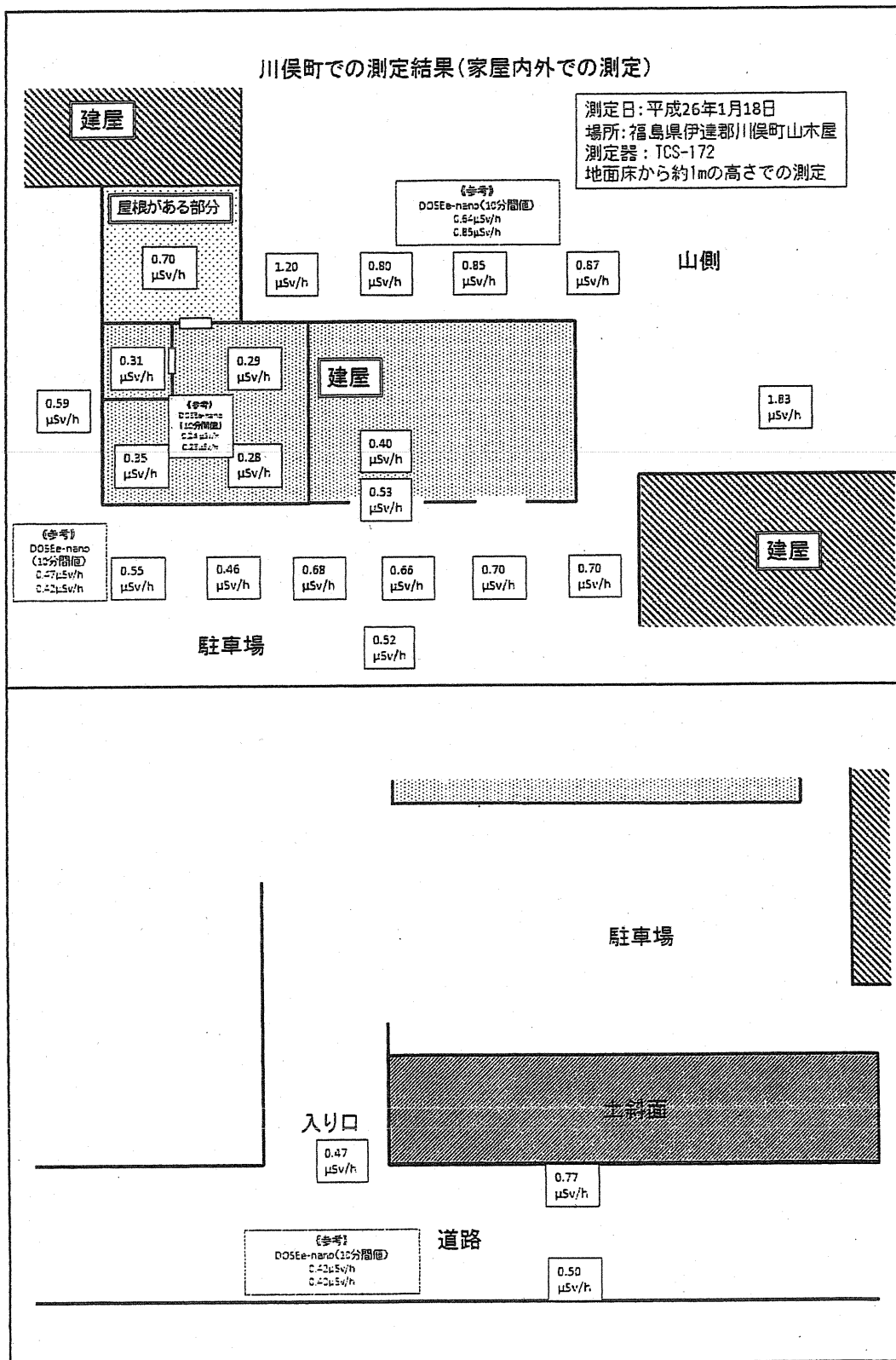


図 1-6 川俣町で家屋内外の NaI シンチレーションサーベイメータ測定結果

表 2-1 田村市における個別訪問日と訪問先

No.	訪問日	訪問先	線量計の数
1	2014.2.22	船引（仮設住宅）	1
2	2014.2.22	都路（自宅）	2
3	2014.2.24	船引（仮設住宅）	1
4	2014.3.1	関東圏（避難先）	2
5	2014.3.10	都路（自宅）	2
6	2014.3.12	都路（自宅）	2
7	2014.3.15	説明会*	1
計			11

* 説明会に参加いただいた際に1名の方のデータを取り出した。

表 2-2 田村市において読み出したデータの積算線量

No.	測定期間 (貸出日翌日～ 読み取り日前日)	日数 (日)	測定期間中の 積算線量 (μ Sv)	線量 (年間換算) (mSv/年)	備考
1	2013. 9. 4～ 2014. 2.21	171	352.5	0.75	船引の仮設住宅に置いてあった。主に外出時に身につけている。
2-1	2013. 7.30～ 2014. 2.21	207	559.9	0.99	都路の自宅に置いてあった。
2-2	2013. 7.30～ 2014. 2.21	207	1121.0	1.98	仕事で高い線量の地域へ行ったことがある。常に身につけている。
3	2013.8.27～ 2014.2.23	181	374.4	0.76	ほぼ船引の仮設住宅に置いてある。
4-1	2013.11.20～ 2014. 2.28	101	169.1	0.61	避難先（関東圏）では室内。福島帰宅時は身につけている。
4-2	2013.11.20～ 2014. 2.28	101	175.2	0.63	避難先（関東圏）で置いてある。
5-1	2013. 8.13～ 2014. 3. 9	209	747.5	1.31	仕事で除染作業をしていた。常に身につけている。
5-2	2013. 8.13～ 2014. 3. 9	209	541.9	0.95	ほぼ室内に置いてある。
6-1	2013.11.15～ 2014. 3.11	117	330.9	1.03	仕事で除染作業をしていた。
6-2	2013.11.15～ 2014. 3.11	117	297.2	0.93	時々身につけている。
7	2013.2.14～ 2013.3.14	29	81.9	1.03	説明会で読み出した。
平均				1.00	

表 2-3 田村市の老健施設での測定結果

No.	測定期間	日数 (日)	測定期間中の 積算線量 (μ Sv)	線量 (年間換算) (mSv/年)	平均線量率 (μ Sv/h)
1	2014.2.22~2014.3.7	14	35.9	0.94	0.11
2	2014.2.21~2014.3.6	14	33.1	0.86	0.10

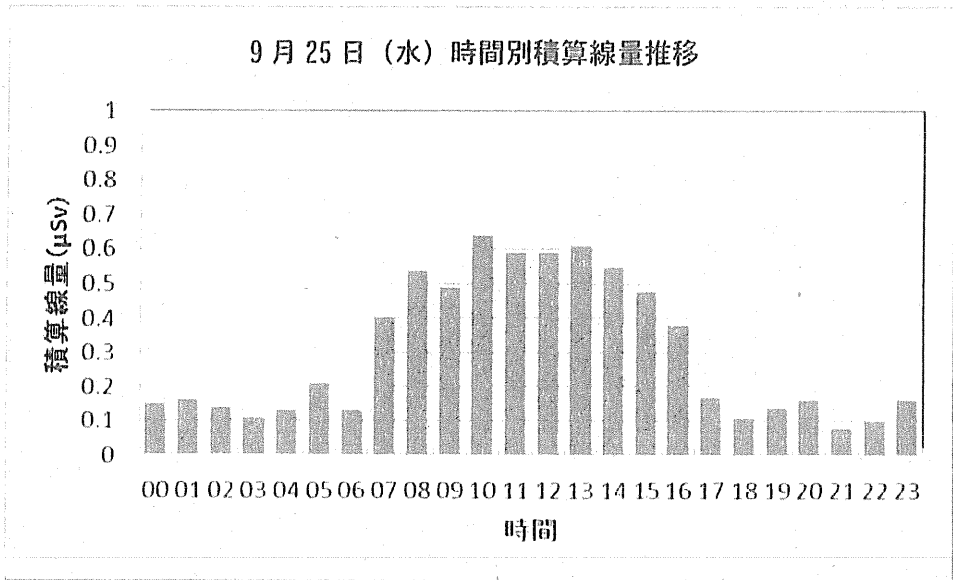


図 2-1 測定結果の例(1)

昼間除染作業を行っていたため、高い値となっている。

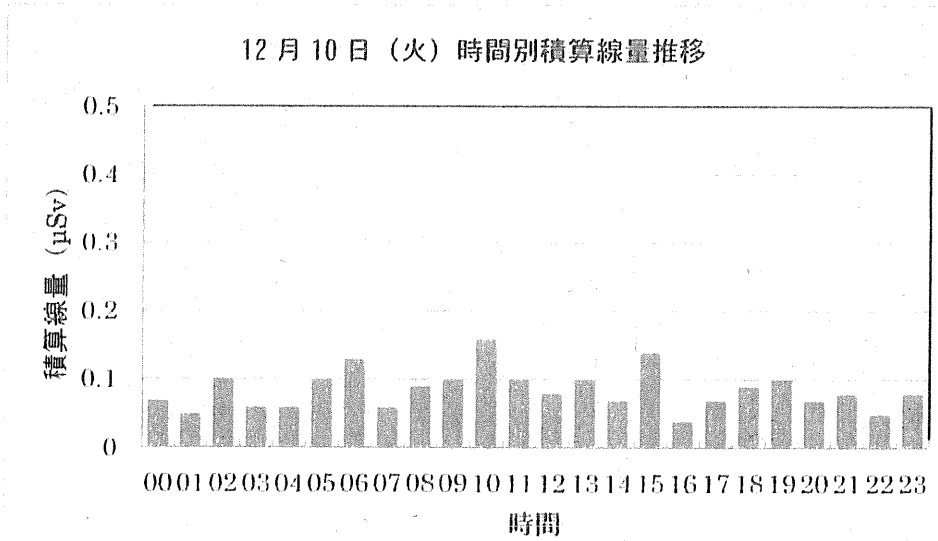


図 2-2 測定結果の例(2)

午前 10 時～11 時くらいに都路の自宅に帰ったため、少し高い値となっている。

積算期間の日別積算線量

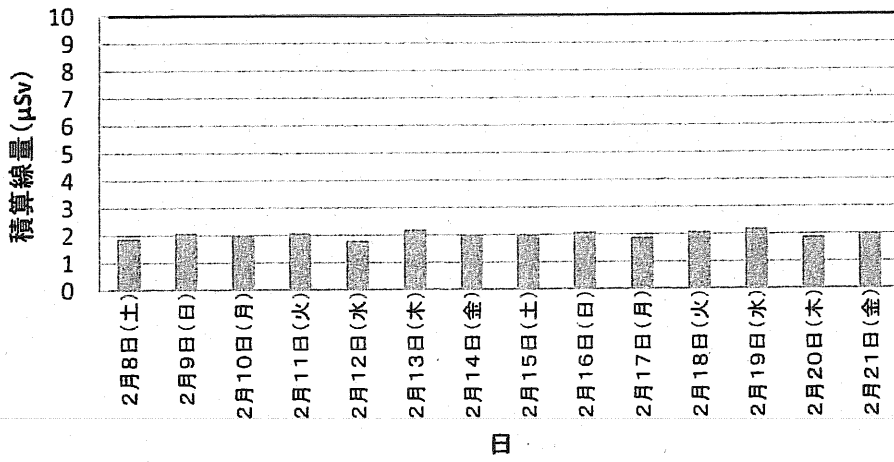


図 2-3 測定結果の例(3)

自宅に置いたままのため、変動が小さくなっている。

表 3-1 伊達市での測定結果

No.	職業	測定期間	日数 (日)	測定期間中の 積算線量 (μ Sv)	線量 (年間換算) (mSv/年)	平均線量率 (μ Sv/h)
1	主婦	2014.2.15~ 2014.2.28	14	38.3	1.00	0.11
2	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	27.5	0.72	0.08
3	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	26.3	0.69	0.08
4	"	2014.2.24~ 2014.3.9	14	35.9	0.94	0.11
5	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	29.1	0.76	0.09
6	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	39.9	1.04	0.12
7	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	22.6	0.59	0.07
8	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	30.5	0.80	0.09
9	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	31.9	0.83	0.09
10	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	28.1	0.73	0.08
11	"	2014.2.15~ 2014.2.28	14	32.0	0.83	0.10
平均				31.1	0.81	0.09
12	建設業	2014.2.26~ 2014.3.11	14	28.2	0.74	0.08
13	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	35.4	0.92	0.11
14	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	35.1	0.92	0.10
15	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	38.3	1.00	0.11
16	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	36.3	0.95	0.11
17	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	51.1	1.33	0.15
18	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	56.1	1.46	0.17
19	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	47.8	1.25	0.14
20	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	58.8	1.53	0.18
平均				43.0	1.12	0.13

21	会社員	2014.2.26~ 2014.3.11	14	34.6	0.90	0.10
22	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	35.8	0.93	0.11
23	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	47.8	1.25	0.14
24	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	33.5	0.87	0.10
25	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	37.6	0.98	0.11
26	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	40.0	1.04	0.12
27	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	33.4	0.87	0.10
28	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	27.4	0.71	0.08
29	"	2014.2.25~ 2014.3.10	14	33.4	0.87	0.10
30	"	2014.2.26~ 2014.3.11	14	29.5	0.77	0.09
平均				35.3	0.92	0.11
全体平均				36.1	0.94	0.11

表 4-1 丸森町での測定結果

測定期間：2014年1月20日～2014年2月2日

ただし測定期間中、電源を入れていない期間、バッテリー切れの期間については測定を行っていない。また、はずれ値（表 4-2 参照）は除いて計算している。

No.	測定期間中の積算線量 (μSv)	線量 (年間換算) (mSv)	平均線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)
1	23.85	0.63	0.07
2	22.90	0.65	0.07
3	34.38	0.90	0.10
4	37.17	0.99	0.11
5	30.84	0.83	0.09
6	31.96	0.83	0.10
7	42.80*	0.88	0.10
8	27.08	0.75	0.09
9	26.23	0.68	0.08
10	35.49	0.96	0.11
11	24.01	0.84	0.10
12	24.39	0.64	0.07
13	27.33	0.71	0.08
14	34.26*	0.79	0.09
15	20.52	0.53	0.06
16	29.62	0.79	0.09
17	24.17	0.63	0.07
18	24.42	0.74	0.08
19	30.79	0.80	0.09
20	33.45	0.87	0.10
21	24.72	0.64	0.07
22	24.31	0.64	0.07
23	22.43	0.58	0.07
24	30.22	0.79	0.09
25	40.28*	1.02	0.12
26	22.76	0.63	0.07
27	33.36	0.98	0.11
28	34.13	0.91	0.10
29	27.51	0.72	0.08
平均		0.77	0.09

※ 時刻合わせができなかったため、電源投入時からの総積算線量を示す。

表 4-2 丸森町での測定で記録されたはずれ値と思われる値 (5 μ Sv/h 以上) の一覧

No.	記録された日時	記録された線量率 (10 分間値)
10	2014/1/23 10:00	399.978 μ Sv/h
	2014/1/23 12:10	121.668 μ Sv/h
	2014/1/23 12:20	54.09 μ Sv/h
	2014/1/23 20:30	11.076 μ Sv/h
	2014/1/29 14:50	8.43 μ Sv/h
	2014/1/29 16:40	137.268 μ Sv/h
	2014/1/29 17:40	28.266 μ Sv/h
	2014/1/29 18:30	10.692 μ Sv/h
	2014/1/29 19:20	15.798 μ Sv/h
	2014/1/29 20:20	266.154 μ Sv/h
	2014/1/29 21:10	10.752 μ Sv/h
	2014/1/29 22:10	16.026 μ Sv/h
	2014/2/1 19:50	9.69 μ Sv/h
	14	150 時間 20 分後*
152 時間 30 分後*		300.252 μ Sv/h
19	2014/1/27 15:00	12.36 μ Sv/h
23	2014/1/30 12:30	146.43 μ Sv/h
27	2014/1/23 16:40	7.698 μ Sv/h

※ No.14 の線量計については、時刻合わせができなかったため、記録された日時については、電源投入時からの経過時間で示す。

平成 25 年度 住民の被ばく線量把握モデル事業
第 1 回技術検討会
議事録

1. 日 時：平成 25 年 12 月 16 日（月）15:00～17:00

2. 場 所：公益財団法人原子力安全研究協会 地下会議室

3. 出席者（敬称略、順不同）：

鈴木委員長（国際医療福祉大学）、高田委員（放医研）、
宮崎委員（福島県立医大）、百瀬委員（JAEA）、山西委員（近畿大学）、
吉田委員（東北大学）、
オブザーバー：清水補佐、福島専門官（環境省）
事務局：原安協

4. 議 題

- (1) 平成 25 年度「住民の被ばく線量把握モデル事業」の概要について
- (2) 調査の実施方法について
- (3) その他

5. 配付資料

- 25 技術検討会 1-1) ① 技術検討会委員名簿
- 25 技術検討会 1-1) ② 実施計画書
- 25 技術検討会 1-1) ③ 実施スケジュール
- 25 技術検討会 1-2) ① 調査へのご協力をお願い
- 25 技術検討会 1-2) ② 住民の被ばく線量把握モデル事業 行動調査票イメージ(簡易版)
- 25 技術検討会 1-2) ③ 住民の被ばく線量把握モデル事業 行動調査票イメージ(詳細版)

6. 議 事

(1) 平成 25 年度「住民の被ばく線量把握モデル事業」の概要について

1-1) ①～③に基づき、事務局より平成 25 年度「住民の被ばく線量把握モデル事業」技術検討会の委員構成、実施計画、実施スケジュールについて説明を行った。

(2) 調査の実施方法について

1-2) ①～③に基づき、事務局より、調査の実施方法及び、調査協力依頼文書、行動調査票について、説明を行った後、検討を行った。

- ・調査対象地域は、県内は田村市、伊達市、川俣町、県外は宮城県丸森町を予定している。対象者は、各自治体と協議の上、本事業の趣旨に同意頂ける方にご協力頂くこととする。
- ・測定は、測定への同意や事前の説明会など準備が整った地域から順次行う。測定期間は、2週間程度とする。
- ・個人線量計は、千代田テクノル社製のD-シャトルと富士電機社製のDOSEe-nanoを使用する。これまでの使用実績などから、田村市、伊達市、川俣町はD-シャトル、丸森町はDOSEe-nanoを予定している。
- ・本モデル事業の目的を考えると、今回の測定では、個人の線量がどのくらいかというよりも、トレンドを見ることによって線量低減や環境改善に役立つことは何かというデータをとることが重要と考える。
- ・2種類の線量計で同時に測定して比較する必要があることから、川俣町の測定において、近畿大学教職員、原安協職員が着用してデータ取得することとした。
- ・線量測定の特長のひとつに、自分たちの線量を下げることがある。測定の意義の理解と協力を得やすくするため、協力依頼文にメリットを記載する必要がある。
- ・水につけない、携帯電話と一緒にしない等の注意事項や、測定器を破損したときの対応等について記載した、測定ガイドのようなものが必要である。
- ・事故後4ヶ月間の行動調査については、既に時間が経ってしまっており、必ずしも個人線量の把握につながらないことが予想される。協力依頼文書に、事故後4ヶ月間の行動調査については、記載しないこととした。

(3) その他

- ・先行事例を参考にするため、近畿大学が川俣町で平成23年6月から実施してきた経験を技術検討会でご紹介頂くこととした。

以上

平成 25 年度 住民の被ばく線量把握モデル事業
第 2 回技術検討会
議事録

1. 日 時：平成 26 年 2 月 24 日（月）16:00～18:00

2. 場 所：公益財団法人原子力安全研究協会 地下会議室

3. 出席者（敬称略、順不同）：

鈴木委員長（国際医療福祉大学）、高田委員（防衛大学校）、
宮崎委員（福島県立医大）、百瀬委員（JAEA）、吉田委員（東北大学）、
オブザーバー：環境省 清水補佐
事務局：原安協

4. 議 題

- (1) 測定結果について
 - ・川俣町での測定結果
 - ・丸森町での測定結果
- (2) 「個人被ばく線量モニタリング運用マニュアル」（仮称）の骨子案について
- (3) その他

5. 配付資料

- 25 技術検討会 2-1) ①川俣町での測定結果（2 種類の個人線量計の比較）
- 25 技術検討会 2-1) ②川俣町での測定結果（家屋内外での測定）
- 25 技術検討会 2-1) ③丸森町での測定結果（例 1）
- 25 技術検討会 2-1) ④丸森町での測定結果（例 2）
- 25 技術検討会 2-2) 「個人被ばく線量モニタリング運用マニュアル」（仮称）の骨子案について
- 25 技術検討会 2-3) 各対象地域での進捗状況

6. 議 事

- (1) 測定結果について
 - 1) 川俣町での測定結果
 - （2 種類の個人線量計の比較）
 - 2-1) ①に基づき、事務局より、川俣町で実施した 2 種類の個人線量計の比較測定結果について説明の後検討を行った。

- ・測定間隔は、個人線量計をどのような目的で使用するかに依存するのではない。生活の中で高いところを下げようということであれば10分間値が良いし、普段の生活の場での線量を把握したいのであれば1時間値が良い。
- ・10分間値で高いところがあったとしても、トータルの線量には大きく影響しない。日常行動を制限するというような考えにつながらないような解釈が重要である。
- ・自治体での実際の運用では、千代田テクノル製のD-シャトルが使われている場合が多い。富士電機製のDose e-nanoは、商品化されたばかりである。2つの線量計の特性の違いを説明し、特定の行動でこの部分を知りたいという際に、選択肢として挙げることであれば良い。

(家屋内外での測定)

2-1) ②に基づき、事務局より、川俣町で実施した家屋内外での測定結果について説明の後検討を行った。

- ・解析方法が難しいが、サーベイメータによる空間線量率と、個人線量計の値との比較も必要である。

2) 丸森町での測定結果

2-1) ③～④に基づき、事務局より、丸森町で実施した測定結果の例について説明の後検討を行った。

- ・ノイズによるはずれ値と思われるものが、ときどき入っている。原因等についてメーカーに確認する必要がある。
- ・追加線量ではなく、バックグラウンドも含めた値であることは、説明する必要がある。

(2) 「個人被ばく線量モニタリング運用マニュアル」(仮称)の骨子案について

2-2)に基づき、事務局より、「個人被ばく線量モニタリング運用マニュアル」(仮称)の骨子案について、説明を行った後、検討を行った。

- ・ガイドラインは、市町村で個人被ばく線量把握業務に係わる関係者(保健福祉担当者、相談員、専門家)が使用することを念頭に置いた。
- ・帰還の支援において個人被ばく線量の把握は特に重要であることから、避難指示の解除区域での被ばく線量把握に主眼を置いて骨子案を作成する。

(3) 各対象地域での進捗状況について

2-3)に基づき、事務局より、各対象地域での進捗状況について、説明を行った。

(4) その他

次回委員会は3月20日(木) 10:00～の予定で開催する。

以上

平成 25 年度 住民の被ばく線量把握モデル事業
第 3 回技術検討会
議事録

1. 日 時：平成 26 年 3 月 20 日（木）10:00～12:30

2. 場 所：公益財団法人原子力安全研究協会 地下会議室

3. 出席者（敬称略、順不同）：

鈴木委員長（国際医療福祉大学）、宮崎委員（福島県立医大）、百瀬委員（JAEA）、
山西委員（近畿大学）、吉田委員（東北大学）、
オブザーバー：環境省 清水補佐、福島専門官
事務局：原安協

4. 議 題

- (1) 近畿大学による川俣町での測定結果について
- (2) 成果報告書について
- (3) その他

5. 配付資料

- 25 技術検討会 3-1) ①福島県川俣町におけるガラスバッジによる線量測定
- 25 技術検討会 3-1) ②ガラスバッジ測定結果に係る近畿大学によるアドバイス
- 25 技術検討会 3-1) ③ガラスバッジの使用に関する説明
- 25 技術検討会 3-1) ④ガラスバッジ使用上の注意
- 25 技術検討会 3-1) ⑤川俣町での測定結果（空間線量率測定結果）
- 25 技術検討会 3-2) 平成 25 年度住民の被ばく線量把握モデル事業報告書（案）
- 25 技術検討会 3-3) 個人被ばく線量測定ガイドラインについて

6. 議 事

- (1) 近畿大学による川俣町での測定結果について
（ガラスバッジによる測定結果）

3-1) ①～④に基づき、山西委員より、近畿大学による川俣町でのガラスバッジを使った測定結果について説明の後、検討を行った。

- ・川俣町における近畿大学による測定は、事故から比較的早い時期の平成 23 年 6 月から継続的に行われており、参考とすべき点が多いデータと考えられる。
- ・平成 25 年秋には、第 1 回の結果説明会を午前午後の 2 回に分けて開催したが、

近年は大人数を集めての説明会は必要なく、教員を通じて結果の返却を行っている。また、個別相談の希望者も減ってきた。しかし、依然として不安を抱えている保護者も多く、健康相談等の個別のアドバイスをを行う体制は必要である。

(2) 成果報告書について

3-2)に基づき、事務局から成果報告書の構成案について説明の後、検討を行った。

- ・今後、集計中のデータのとりまとめを行ったうえで、報告書原稿案を事務局にて作成し、委員にメールで配布して確認する手順とした。

(3) その他

- ・ガイドラインについては、環境省の「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議」においても検討されており、その議論も参考とする必要があるが、本事業における検討においては第2回技術検討会で議論した方向性及び範囲で検討することとした。
- ・閉会にあたり、委託元の環境省より委員に対して謝意が述べられた。

以上

平成26年2月5日

避難指示解除準備区域の市民の皆様

公益財団法人原子力安全研究協会

個人線量計による被ばく線量測定結果ご説明のための個別訪問のご協力をお願い
(環境省 住民の被ばく線量把握モデル事業)

東京電力福島第一原子力発電所事故から3年が経とうとしています。皆様におかれましては、依然として避難生活を強いられていることに対し心からお見舞い申し上げます。

さて、私ども公益財団法人原子力安全研究協会では、環境省から、福島県内外の住民の皆様の追加被ばく線量を把握するためのモデル事業を受託しております。この事業は、個人線量計を用いて個々の外部被ばく線量を測定し、それらのデータ収集・解析を通じて、住民の皆様にわかりやすく、各々の追加被ばく線量をお示しすると共に、きめ細やかな対策を講じることを目的として行っているものです。

このたび田村市のご協力のもと、このモデル事業の一環として、既に個人線量計を貸与された住民の方々に希望されるお宅を訪問させていただき、個人線量計に蓄積されている測定結果データを読み出すとともに、測定結果のご説明をさせていただきたく、ご通知申し上げます。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

1 訪問日時等の調整について

個別訪問実施期間：平成26年2月19日（水）～平成26年3月5日（水）

※ご希望の日時等について申込書にご記入いただき、返信用封筒で平成26年2月14日（金）までにご投函ください。

※申込書を確認した後、具体的な個別訪問の日時・場所等につきまして、公益財団法人原子力安全研究協会の担当者より、ご記入いただいた連絡先電話番号にご連絡差し上げます。

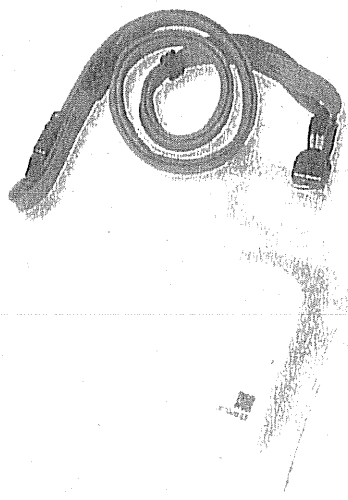
事業詳細については、別紙「個別訪問実施要領」をご覧ください。

〒105-0004 東京都港区新橋5-18-7
公益財団法人 原子力安全研究協会 放射線環境影響研究所
TEL:03-5470-1994 FAX:03-5470-1990 担当：菊間 由隆

個別訪問実施要領

1. 対象となる方

帰還に向けた準備宿泊（特例宿泊）のため、田村市より個人線量計「D-シャトル」を借用されている方。



個人線量計「D-シャトル」

2. 個別訪問実施期間

個別訪問は、下記の期間で実施しますので、ご希望の日時、分析を希望される個人線量計の台数、個人線量計の装着状況、ご氏名、連絡先電話番号を別添の申込書にご記入いただき、添付の返信用封筒で、平成26年2月14日（金）までにご投函ください。なお、1回の訪問時間は、おおよそ1時間程度を予定しております。また、ご訪問させていただく際には、分析を希望される個人線量計をまとめて、ご準備いただくようお願い致します。

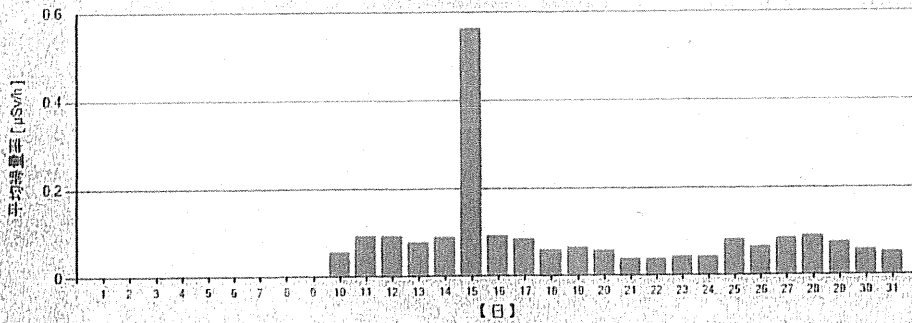
個別訪問実施期間：平成26年2月19日（水）～平成26年3月5日（水）

3. 訪問時のご説明内容

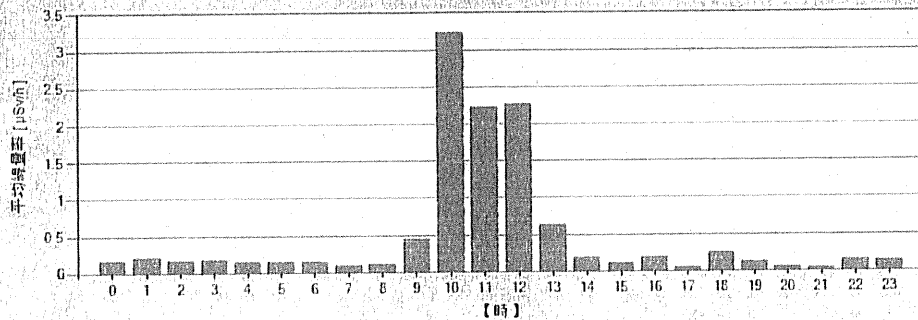
個人線量計に蓄積されている測定データを取り出した後、測定結果を表示させていただきます。

1時間ごとの被ばく線量を記録しておりますので、下記のような表示をご覧いただきながら、全体の傾向等についてご説明をさせていただきます。結果の中で特異な値を示している部分などについて、その時の行動や場所等について伺いする他、ご希望によりサーベイメータによりご自宅内外の測定も行い、原因について検討し、被ばく線量低減のために注意すべきことなど、ご相談させていただきます。また、測定結果のデータにつきましては、持ち帰った後、より詳細な解析を行います。解析結果については、後日、郵送させていただきます。

2013年5月 線量率の推移



2013年5月15日 線量率の推移



測定結果イメージ

(日ごと、時間ごとに線量を表示できます。)

4. 個人情報等の保護について

個人情報の盗難、改ざんおよび漏洩等によるプライバシーその他の権利の侵害を防止するため、適切な管理措置を講じます。また、分析の際には、データを匿名化し、測定結果や行動調査票から個人が特定できないよう、必要な措置を講じます。なお、本調査で得られた個人情報は本調査の分析に必要な範囲に限り用いるものとし、分析結果は行政機関（国、福島県、田村市）で共有し、放射線対策に活用させていただきます。測定の結果は、実施報告書にまとめ、環境省に報告しますが、個人が特定される可能性がある情報については、含めません。

5. 電話相談窓口について

ご不明の点や解析結果についてのご相談等につきましては、下記の電話相談窓口まで、お問い合わせください。電話相談窓口の電話番号は、以下のとおりです。

《電話相談窓口》

電話番号 0120-466-559 (フリーダイヤル)

(平日 10:00~17:00 受付 土日祝除く)

(別添)

個別訪問申込書

○希望日時

平成26年2月19日(水)～平成26年3月5日(水)の実施期間で、ご希望の日時をご記入ください。

【第1希望】

平成26年 月 日 (曜日)

午前/午後 :

【第2希望】

平成26年 月 日 (曜日)

午前/午後 :

○分析を希望される個人線量計の台数

_____ 台

○個人線量計の装着状況

個人線量計の装着状況について、該当する番号に○をつけてください。

1. 常に身につけている。
2. 主に外出時に身につけている。
3. 主に在宅時に身につけている。
4. 特に決まっていないが、時々身につけている。
5. 身につけていない。(置き場所: _____)
6. その他 (_____)

氏 名: _____

連絡先電話番号: _____

調査へのご協力をお願い

環境省 平成25年度原子力災害影響調査等事業 (住民の被ばく線量把握モデル事業)

1. 調査の背景及び目的について

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放射性物質が環境中に放出され、福島県および近隣県を含む広範囲にわたり汚染がもたらされました。福島県および近隣県の汚染状況重点調査地域をはじめとする地域では、放射能の減衰や除染の効果もあり線量は低減傾向にあるものの、依然として低線量被ばくに対する不安が残っている状況です。このため、個人の被ばく線量をよりきめ細かく把握し、その情報をもとに、地域や個人の生活環境での被ばく線量を低減させるきめ細やかな対策を実行していくことが重要です。

そこで、今回、個人線量計を用いた外部被ばく線量測定等を実施し、住民の皆様の被ばく線量を把握するとともに、測定結果を個別にお知らせし、測定結果の意味や防護対策へ反映する方法などに関する説明会および電話相談等を実施することとなりました。本調査の目的と意義をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

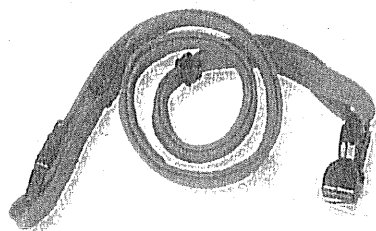
2. 調査実施期間と実施項目について

○ 調査実施期間：平成26年2月15日(土)～平成26年2月28日(金) (2週間)

○ 調査実施項目：

1) 個人線量計による測定

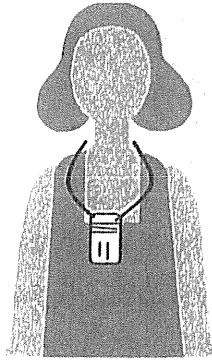
所定の方法で常時個人線量計を装着していただき、個人線量測定を行います。線量計は、1時間毎の線量を測定し、データを蓄積します。線量計は、図に示すような小さな機器で、専用のストラップで首にかけて測定します。



500円玉との大きさ比較

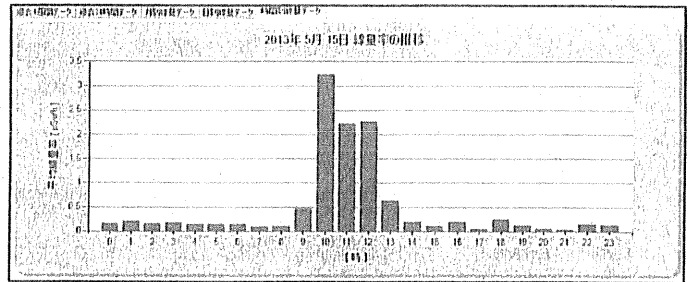
装着いただく個人線量計

(大きさ：68mm×32mm×14mm、重さ：23g)



装着イメージ

(首にかけて測定します。)



測定結果イメージ

(時間ごとに線量を計測します。)

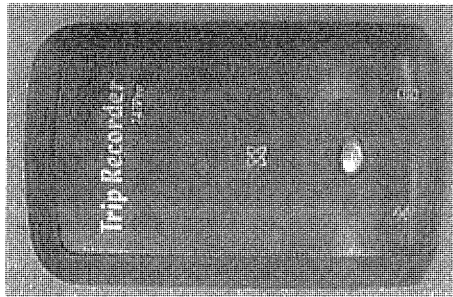
2) 行動調査票の記入

行動調査票に1日の行動(屋内、屋外、移動等のおおまかなもの)をご記入いただきます。別途配布させていただきます行動調査票をご参照ください。

3) GPSによる行動調査《希望者のみ》

ご希望いただき、ご協力をいただける方には、GPS受信機を装着していただき、位置情報を記録します。

※プライバシーの問題もありますので希望者のみ(数名程度のイメージ)を対象とします。



GPS受信機

4) サーベイメータによる自宅周辺等の空間線量率測定《希望者のみ》

調査結果を受けて、より詳細な測定をご希望される場合には、サーベイメータ等による測定の実施を予定しております。(実施対象・方法については、検討中です。)

3. 実際の調査方法

1. 本調査に関する説明書(本書)および同意書等をお配りしますので、ご確認いただき、同意書に、本調査への協力に対する同意の可否、および必要事項をご記入いただきます。なお、本調査にご協力いただける場合には、ご協力いただく方ご本人の氏名、住所等をご記入の上、ご捺印ください。
2. ご同意いただいた方には、線量計及び行動調査票を配付致します。
3. 同意いただいた方の中で、GPSによる調査にも同意いただいた方には、GPS受信機および充電器を合わせてお配り致します。

4. 調査期間は2週間を予定しています。調査期間終了後、線量計、行動調査票等を返信用の封筒に入れ、ご返送ください。
5. 以上の調査で得られた情報をもとに、調査結果を集計致します。調査結果については、個別にお知らせ致します。
6. 調査結果を受けて、より詳細な測定をご希望される場合には、必要に応じて、サーベイメータによる空間線量率測定等を実施します。
7. 全体の調査結果については、説明会を開催し、説明を行います。

4. 予想される利益及び不利益について

本調査により、ご協力いただきました皆様の詳細な個人被ばく線量を把握することができます。これにより、個人線量が高くなる要因が特定でき、被ばく線量の低減や環境改善についての適切な対策の実施に役立つ情報を得ることができます。また、測定結果については、個別にお知らせし、結果に対する説明会や電話相談を実施致します。本調査は、線量計による測定と行動記録表等による情報収集のみであり、身体的な負担を伴う調査ではありません。また、結果を公表する際にも、個人が特定されることはありません。したがって、線量計等の携帯・使用及び調査票等への記入に係るご負担以外で、今回の調査で受ける不利益はありません。

5. 説明会の実施について

測定結果を個別にお知らせした後、全体の調査結果についての説明会を実施し、あわせてご質問や不安に感じられていることに個別にお答え致します。

6. 同意の撤回について

調査に協力していただくかどうかは皆様の自由です。いつ、いかなるときでも調査への協力を拒否・中断することができます。いったん調査への協力に同意した後に同意を撤回されることもできます。その場合は添付しております同意撤回書に必要事項をご記入いただき、線量計等とともに、返信用封筒で、ご返送ください。

7. 同意しない場合でも不利益を受けないことについて

たとえ調査への協力に同意いただけない場合、又は同意を撤回される場合でも、いかなる不利益も受けることはありません。

8. 個人情報等の保護について

個人情報の盗難、改ざんおよび漏洩等によるプライバシーその他の権利の侵害を防止するため、適切な管理措置を講じます。また、分析の際には、データを匿名化し、測定結果や行動調査票から個人が特定できないよう、必要な措置を講じます。なお、本調査で得られた個人情報は本調査の分析に必要な範囲に限り用いるものとし、分析結果は行政機関（国、福島県、伊達市等）で共有し、放射線対策に活用させていただきます。

9. 調査結果の取り扱いについて

本調査は、環境省による平成25年度原子力災害影響調査等事業として行われるものです。本調査

の結果は、報告書にまとめ、環境省から公表する予定です。ただし、個人が特定される可能性がある情報については、含まれません。

10. 電話相談窓口について

調査中に線量計等に不具合が発生した場合や、調査結果についてのご相談は、下記の電話相談窓口で受け付けております。電話相談窓口の電話番号は、以下のとおりです。

《線量把握モデル事業 電話相談窓口》

電話番号 0120-466-559 (フリーダイヤル)

(平日 10:00~17:00 受付 土日祝除く)

別紙2

行動記録票 記入例

線量計番号: _____

① 主な生活パターンを記入してください(自宅以外)

A	会社(福島市)	B	スーパー(保原町)	C	畑(自宅周辺)	D	散歩(自宅周辺)	E	
---	---------	---	-----------	---	---------	---	----------	---	--

② 上記①の生活パターンA~Eを、時間帯に合わせて、記入してください。
それ以外の場合は、行動内容を記入してください。

日数	月日	午前					午後			
		0	3	6	9	12	15	18	21	24
1	2/4				A			B		
2	2/5				A			D		
						二本松市で業務		会社でも、外出があった場合は、記入してください。		
3	2/6				C		C	B		
4	2/7				同上	※前日と同じ場合は、『同上』で構いません。				
5	2/8	※上記①の生活パターン以外の行動のときは、その内容を記入してください。								
6	2/9									
						仙台市へショッピング				
7	2/10				病院(梁川)		A			
8	2/11	1日中、外出しなかった場合は、空欄となります。								
9	2/12									
10	2/13	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>高性能積算線量計は、1時間毎の積算線量値を確認できます。この行動記録票を照らし合わせることで、高値となる原因の確認ができるようになります。</p> <p>そのため、上記のような記入方法でなくとも、ご自身で2週間の生活パターンが確認できる内容で、記入いただいて構いません。</p> </div>								
11	2/14									
12	2/15									
13	2/16									
14	2/17									

自宅以外の行動を記入してください。

調査へのご協力をお願い

平成25年度原子力災害影響調査等事業 (住民の被ばく線量把握モデル事業)

1. 調査の背景及び目的について

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放射性物質が環境中に放出され、福島県および近隣県を含む広範囲にわたり汚染がもたらされました。今なお、多くの住民の皆様が避難生活を続けられていますが、避難指示区域の見直しによる区域再編が進められ、避難指示解除準備区域の住民の皆様には、順次ご自宅に帰還することが予定されております。また、福島県および近隣県の汚染状況重点調査地域をはじめとする地域では、放射能の減衰や除染の効果もあり線量は低減傾向にあるものの、依然として低線量被ばくに対する不安が残っている状況です。

このため、個人の被ばく線量をよりきめ細かく把握し、その情報をもとに、地域や個人の生活環境での被ばく線量を低減させるきめ細やかな対策を実行していくことが重要です。

そこで、今回、福島県内および近隣県の住民の皆様を対象に、個人線量計を用いた外部被ばく線量測定等を実施し、住民の皆様の被ばく線量を把握するとともに、測定結果を個別にお知らせし、測定結果の意味や防護対策へ反映する方法などに関する説明会および電話相談等を実施することとなりました。本調査の目的と意義をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

2. 調査実施期間と実施項目について

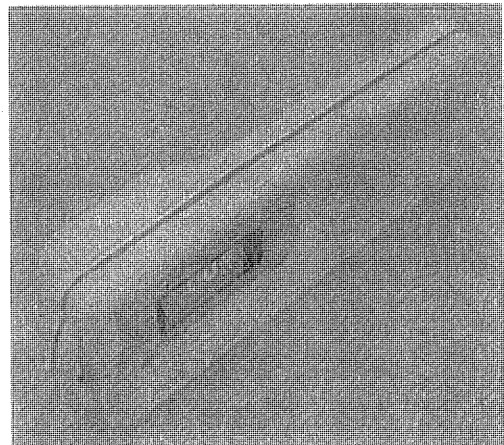
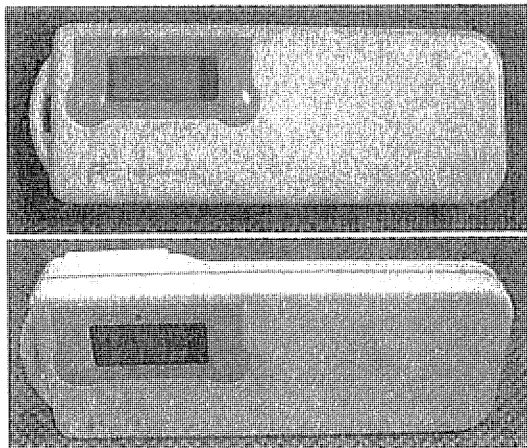
○ 調査実施期間：平成26年1月20日(月)～平成26年2月2日(日) (2週間)

○ 調査実施項目：

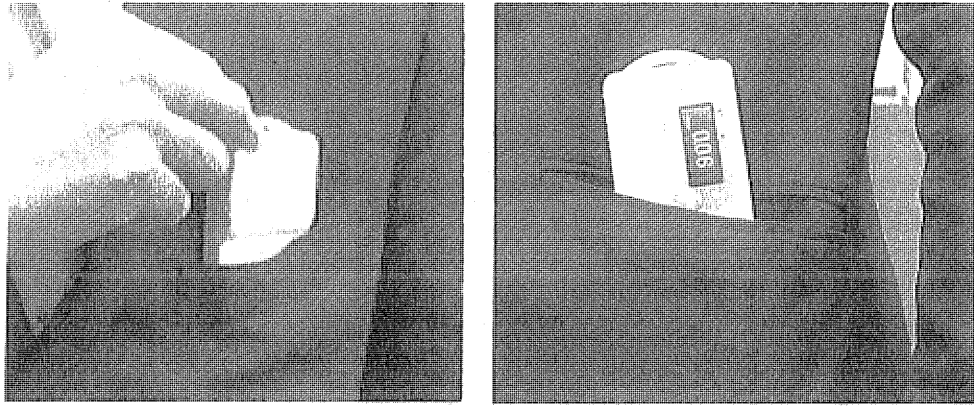
1) 個人線量計による測定

所定の方法で常時個人線量計を装着していただき、個人線量測定を行います。線量計は、1時間毎の線量を測定し、データを蓄積します。線量計は、図に示すような長さ120mm x 幅46mm x 厚さ15mm(突起部を除く)の小さな機器です。ポケットや鞆等に入れて持ち歩いていただくか、専用のストラップで首にかけて測定します。

なお、線量計の操作方法等につきましては、別途、平成26年1月16日(木)に開催予定の操作説明会で説明をさせていただきます。



装着いただく個人線量計



装着イメージ

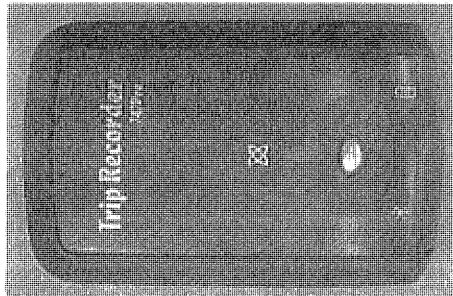
2) 行動調査票の記入

行動調査票に1日の行動（屋内、屋外、移動等のおおまかなもの）をご記入いただきます。別添の行動調査票イメージを参照してください。簡易版と詳細版の2種類がありますが、どちらか記入しやすい方を選択していただき、ご記入ください。行動調査票につきましては、後日、線量計等をお配りする際に、お渡し致します。

3) GPSによる行動調査《希望者のみ》

ご希望いただき、ご協力をいただける方には、GPS受信機を装着していただき、位置情報を記録します。

※プライバシーの問題もありますので希望者のみ（数名程度のイメージ）を対象とします。



GPS受信機

4) サーベイメータによる自宅周辺等の空間線量率測定《希望者のみ》

調査結果を受けて、より詳細な測定をご希望される場合には、サーベイメータ等による測定の実施を予定しております。（実施対象・方法については、検討中です。）

3. 実際の調査方法

1. 本調査に関する説明書（本書）および同意書等をお送りします。
2. 同意書に、本調査への協力に対する同意の可否、および必要事項をご記入いただきます。なお、本調査にご協力いただける場合には、ご協力いただく方ご本人の氏名、住所等をご記入の上、ご捺印ください。また、ご協力いただける方が未成年者の場合は、保護者の方の氏名もご記入の上、ご捺印ください。（保護者の方にご捺印いただいた場合には、ご本人の捺印は不要です。）
3. 平成26年1月16日（木）に操作説明会を開催させていただき、線量計の操作方法等について、ご説明をさせていただきます。同意書については、操作説明会にご持参ください。

(操作説明会にご欠席の場合には、後日、個人線量計の操作説明ならびに線量計等の配布にお伺い致しますので、その際に同意書をお渡しください。)

4. 同意いただけた方には、線量計及び充電器、行動調査票等を配付致します。
5. 同意いただけた方の中で、GPSによる調査にも同意いただけた方には、GPS受信機および充電器を合わせてお配り致します。
6. 調査期間は2週間を予定しています。調査期間終了後、線量計、行動調査票等を回収致します。
7. 以上の調査で得られた情報をもとに、調査結果を集計致します。調査結果については、個別にお知らせ致します。
8. 必要に応じて、サーベイメータによる空間線量率測定等を実施します。
9. 全体の調査結果については、説明会を開催し、説明を行います。

4. 予想される利益及び不利益について

本調査により、ご協力いただきました皆様の詳細な個人被ばく線量を把握することができます。これにより、個人線量が高くなる要因が特定でき、被ばく線量の低減や環境改善についての適切な対策の実施に役立つ情報を得ることができます。また、測定結果については、個別にお知らせし、結果に対する説明会や電話相談を実施致します。本調査は、線量計による測定と行動記録表等による情報収集のみであり、身体的な負担を伴う調査ではありません。また、結果を公表する際にも、個人が特定されることはありません。したがって、線量計等の携帯・使用及び調査票等への記入に係るご負担以外で、今回の調査で受ける不利益はありません。

5. 説明会の実施について

測定結果を個別にお知らせした後、全体の調査結果についての説明会を実施し、あわせてご質問や不安に感じられていることに個別にお答え致します。

6. 同意の撤回について

調査に協力していただくかどうかは皆様の自由です。いつ、いかなるときでも調査への協力を拒否・中断することができます。いったん調査への協力に同意した後に同意を撤回されることもできます。その場合は添付しております同意撤回書に必要事項をご記入いただき、お申し出ください。線量計等の機材につきましては、回収させていただきます。(回収の方法については、後日ご連絡をさせていただきます。)

7. 同意しない場合でも不利益を受けないことについて

たとえ調査への協力に同意いただけない場合、又は同意を撤回される場合でも、いかなる不利益も受けることはありません。

8. 個人情報等の保護について

個人情報の盗難、改ざんおよび漏洩等によるプライバシーその他の権利の侵害を防止するため、適切な管理措置を講じます。また、分析の際には、データを匿名化し、測定結果や行動調査票から個人が特定できないよう、必要な措置を講じます。なお、本調査で得られた個人情報は本調査の分析に必要な範囲に限り用いるものとし、分析結果は行政機関(国、宮城県、丸森町)で共有

し、事故後の放射線対策に活用させていただきます。

9. 調査結果の取り扱いについて

本調査は、環境省による平成25年度原子力災害影響調査等事業として行われるものです。本調査の結果は、報告書にまとめ、環境省から公表する予定です。ただし、個人が特定される可能性がある情報については、含まれません。

10. 電話相談窓口について

調査中に線量計等に不具合が発生した場合や、調査結果についてのご相談は、下記の電話相談窓口で受け付けております。電話相談窓口の電話番号は、以下のとおりです。

《線量把握モデル事業 電話相談窓口》

電話番号 0120-466-559 (フリーダイヤル)

(平日 10:00~17:00 受付 土日祝除く)

※ 以上の「調査へのご協力のお願い」をよくお読みいただいた後、調査に参加することへの同意の有無とGPS受信機による調査への同意の可否を別添の同意書にご記入いただき、署名、捺印の上、平成26年1月16日(木)に開催予定の操作説明会にご持参ください。操作説明会にご欠席の場合には、後日、個人線量計の操作説明ならびに線量計等の配布にお伺いした際に回収させていただきます。

住民の被ばく線量把握モデル事業 行動調査票イメージ (簡易版)

線量計番号: _____

○フェイスシート

良く行く場所と交通手段 (車・徒歩/自転車・電車) をあげてください。

	良く行く場所	交通手段
①	勤務先 (町内)	車
②	スーパー (〇〇市)	車
③	畑 (町内)	徒歩
④	自宅の近所	徒歩/自転車

(記入例)

最初に、良く行く場所を記入しておく。

上記を中心に、立ち寄った場所を日誌に記載する。

○日誌イメージ

1/20 (月)	午前	① (その他)
	午後	①・② (その他)
1/21 (火)	午前	(その他)
	午後	1/20 と同じ (その他)
1/22 (水)	午前	③ (その他)
	午後	主に自宅にいた場合には、記入は不要。)
1/23 (木)	午前	① (その他)
	午後	(その他 親戚の家 (〇〇市) (電車))

他の日と同じ行動の場合は、
〇月〇日と同じという記載でも
よい。

フェイスシートで最初に挙げた場所以外の所に、主に
滞在した場合には、「その他」に行き先と移動手段を記
載する。

環境省 平成25年度原子力災害影響調査等事業
 (住民の被ばく線量把握モデル事業)
 調査目的と概要

○ 調査の背景及び目的

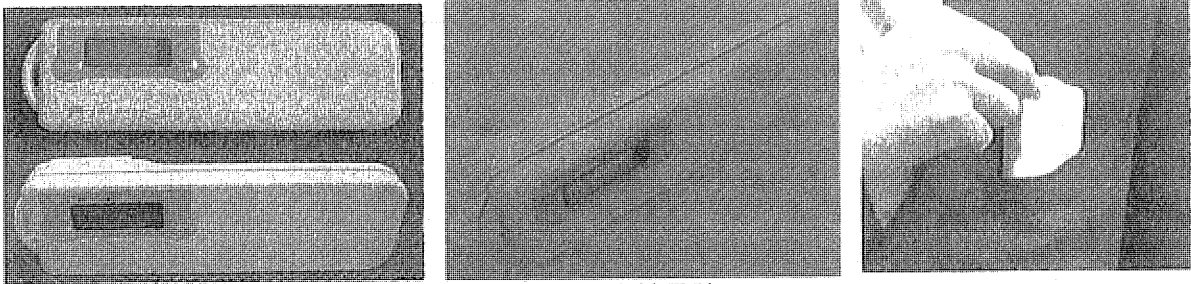
東京電力福島第一原子力発電所の事故により放射性物質が環境中に放出され、福島県および近隣県を含む広範囲にわたり汚染がもたらされました。福島県および近隣県の汚染状況重点調査地域をはじめとする地域では、放射能の減衰や除染の効果もあり線量は低減傾向にあるものの、依然として低線量被ばくに対する不安が残っている状況です。このため、個人の被ばく線量をよりきめ細かく把握し、その情報をもとに、地域や個人の生活環境での被ばく線量を低減させるきめ細やかな対策を実行していくことが重要です。

そこで、今回、個人線量計を用いた外部被ばく線量測定等を実施し、住民の皆様の被ばく線量を把握するとともに、測定結果を個別にお知らせし、測定結果の意味や防護対策へ反映する方法などに関する説明会および電話相談等を実施することとなりました。本調査の目的と意義をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

○ 調査の概要

① 個人線量計による測定

所定の方法で常時個人線量計を装着していただき、個人線量測定を行います。



装着いただく個人線量計
 (大きさ:120mm×46mm×15mm、重さ:120g)

② 行動調査票の記入

行動調査票(簡易版、詳細版どちらかをお選びいただきます)に1日の行動をご記入いただきます。

上記を中心に、立ち寄り場所を日記に記録する。

○行動記録表(日誌)

1/20	午前	○
(月)	午後	○◎
1/21	午前	1/20と同じ ← 他の日と同じ行動の場合は、○月○日と同じという記録でOK
(火)	午後	◎
1/22	午前	◎
(水)	午後	王の自宅(作業場)は、記入は不要
1/23	午前	○
(木)	午後	王の宅(作業場) (○) (○) (電車)

最初に手付た場所(作業場)に、王に滞在した場合は、「王の宅」に、行き先と移動手段を記載する。

行動調査票のイメージ【簡易版】

月日	所在 場所	0	3	6	9	12	15	18	21	24	地名・施設名
1/20 (月)	室内 屋外					B		C	A		1. 個人線量計の中心 2. 子会社(運動公園) 室内
1/21 (火)	室内 屋外					B			A		3. 子会社
1/22 (水)	室内 屋外										あらかじめ記入してなかった場合は出てきた時点で書き記入
1/23 (木)	室内 屋外										記入例
1/24 (金)	室内 屋外										

行動調査票のイメージ【詳細版】

③ GPS による行動調査《希望者のみ》

ご希望いただき、ご協力をいただける方には、GPS 受信機を装着していただき、位置情報を記録します。
※プライバシーの問題もありますので希望者のみ（数名程度のイメージ）を対象とします。



GPS 受信機

④ サーベイメータによる自宅周辺等の空間線量率測定《希望者のみ》

調査結果を受けて、より詳細な測定をご希望される場合には、サーベイメータ等による測定の実施を予定しております。（実施対象・方法については、検討中です。）

○ 調査実施期間

平成 26 年 1 月 20 日 (月)～平成 26 年 2 月 2 日 (日) (2 週間)

○ 個人線量計・行動調査票の回収について

個人線量計・行動調査票（及びGPS受信機）等につきましては、お手数ですが、調査実施期間終了後、封筒に入れて、丸森町役場までお持ちください。

○ 調査結果について

本調査により、ご協力いただきました皆様の詳細な個人被ばく線量を把握することができます。これにより、個人線量が高くなる要因が特定でき、被ばく線量の低減や環境改善についての適切な対策の実施に役立つ情報を得ることができます。また、測定結果については、個別にお知らせ致します。

○ 結果説明会の実施について

調査結果についての説明会を実施し、あわせてご質問や不安に感じられていることに個別にお答え致します。

○ 電話相談窓口

調査中に線量計等に不具合が発生した場合や、調査結果についてのご相談を受け付けます。

《線量把握モデル事業 電話相談窓口》

電話番号 0120-466-559 (フリーダイヤル)

(平日 10:00～17:00 受付 土日祝除く)

住民の被ばく線量把握モデル事業

行動調査票（簡易版）

線量計番号	
-------	--

よく行く場所と交通手段（車・徒歩/自転車・電車）をあげてください。

	よく行く場所	交通手段
①	勤務先（町内）	車
②	スーパー（〇〇市）	車
③	畑（町内）	徒歩
④	自宅の近所	徒歩/自転車
⑤		

(記入例)

最初に、よく行く場所を記入しておく。

行動記録表（日誌）に行った場所を番号で記入してください。上の表に書いていない場所に行った場合には、直接場所の名前を記入してください。

記入したよく行く場所を中心に、立ち寄った場所を日誌に記載する。

○行動記録表（日誌）

1/20 (月)	午前	①
	午後	① ②
1/21 (火)	午前	1/20と同じ ←
	午後	
1/22 (水)	午前	②
	午後	主に自宅にいた場合には、記入は不要。
1/23 (木)	午前	①
	午後	その他（ 親戚の家（〇〇市）（電車） ）

他の日と同じ行動の場合は、
〇月〇日と同じという記載でもよい。

最初に挙げた場所以外の所に、主に滞在した場合には、「その他」に行き先と移動手段を記載する。

住民の被ばく線量把握モデル事業 行動調査票（詳細版）

線量計番号	
-------	--

よく行く場所を記入してください。

番号	よく行く場所
A	勤務先（町内）
B	スーパー（〇〇市）
C	畑（町内）
D	自宅の近所
E	

(記入例)

最初に、よく行く場所を記入しておく。

行動記録表（日誌）に行った場所を番号で記入してください。上の表に書いていない場所に行った場合には、直接場所の名前を記入してください。

よく立ち寄る場所をあらかじめ別表に記入しておく

記入例

名 21 18 15

月日	滞在場所	0	15	18	21
1/20 (月)	屋内	← A →	← B →	← C →	← A →
	屋外			②	
1/21 (火)	屋内	← A →			← A →
	屋外				③
1/22 (水)	屋内				
	屋外				
1/23 (木)	屋内				
	屋外				
1/24 (金)	屋内				
	屋外				
1/25 (土)	屋内				
	屋外				
1/26 (日)	屋内				
	屋外				

- ① 知人A宅(〇〇市)
- ② 子供会(運動公園)(町内)
- ③ 大の散歩

あらかじめ記入していなかった場所は出てきた時点で追加記入

1/20と同じ

他の日と同じ行動の場合は、〇月〇日と同じという記載でもかまいません。

記入例

住民の被ばく線量把握モデル事業

行動調査票（簡易版）

線量計番号	
-------	--

よく行く場所と交通手段（車・徒歩/自転車・電車）を記入してください。

番号	よく行く場所	交通手段
①		
②		
③		
④		
⑤		

行動記録表（日誌）に行った場所を番号で記入してください。上の表に書いていない場所に行った場合には、直接場所の名前を記入してください。

○行動記録表（日誌）

1/20 (月)	午前	
	午後	
1/21 (火)	午前	
	午後	
1/22 (水)	午前	
	午後	
1/23 (木)	午前	
	午後	
1/24 (金)	午前	
	午後	
1/25 (土)	午前	
	午後	
1/26 (日)	午前	
	午後	

1/27 (月)	午前	
	午後	
1/28 (火)	午前	
	午後	
1/29 (水)	午前	
	午後	
1/30 (木)	午前	
	午後	
1/31 (金)	午前	
	午後	
2/1 (土)	午前	
	午後	
2/2 (日)	午前	
	午後	

住民の被ばく線量把握モデル事業 行動調査票（詳細版）

線量計番号	
-------	--

よく行く場所を記入してください。

番号	よく行く場所
A	
B	
C	
D	
E	

行動記録表（日誌）に行った場所を番号で記入してください。上の表に書いていない場所に行った場合には、直接場所の名前を記入してください。

平成 25 年度「住民の被ばく線量把握モデル事業」
丸森町測定結果説明

1. 丸森町全体での測定結果について

ご協力いただいた方：29人

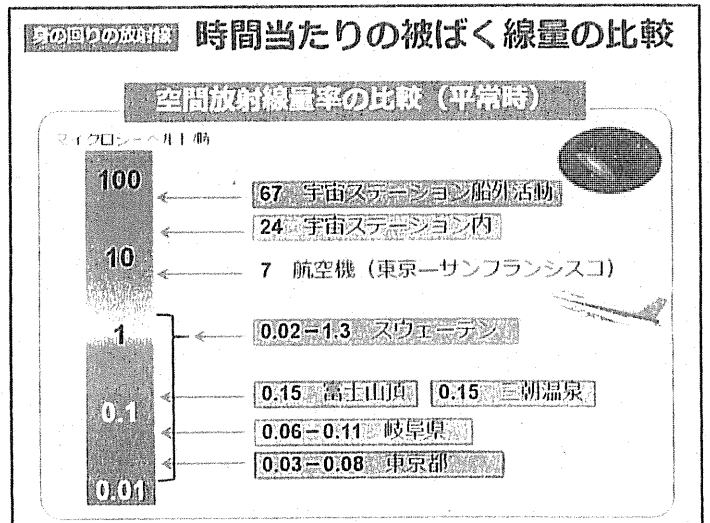
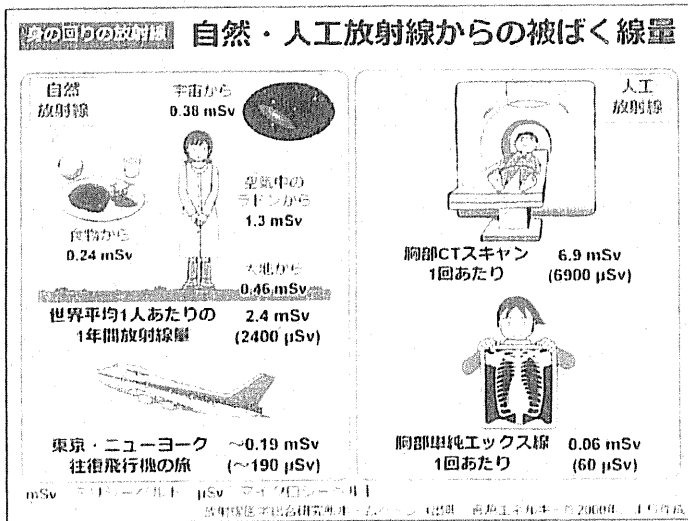
測定期間：平成 26 年 1 月 20 日（月）0:00 ～平成 26 年 2 月 2 日（日）24:00（2 週間）

線量計：富士電機製 DOSEe-nano

測定結果：

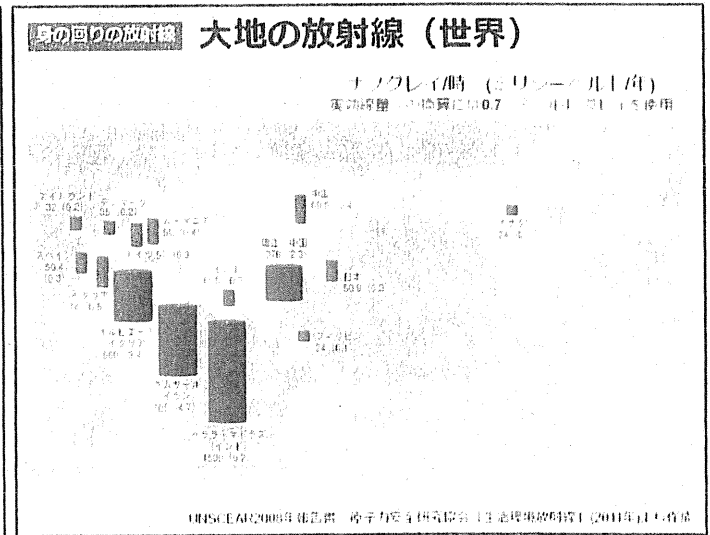
- ・ 平均線量（年間） 0.77mSv
- ・ 平均線量率 0.09 μ Sv/h
(はずれ値を除いた値)

(参考資料)



身の回りの放射線 自然からの被ばく線量の内訳

線源	内訳	実効線量 (ミリシーベルト/年)
外部被ばく	宇宙線	0.3
	大地放射線	0.33
内部被ばく (吸入摂取)	ラドン (屋内 屋外)	0.37
	タバコ (屋内 屋外)	0.09
	喫煙 (総210 米口ニコチン210など)	0.01
	その他 (ウラン など)	0.006
内部被ばく (経口摂取)	主に総210 米口ニコチン210	0.80
	カリウム	0.0000082
	放射性セシウム	0.01
	カリウム40	0.18
	合計	2.1



出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料平成 24 年度版 ver.2012001

2. 今回の測定結果でお示しする情報

1) 基本的な情報

- ・ 2週間の積算線量：_____ mSv (電池切れ等により測定できなかった分は除いて積算しています。)

(年間線量：mSv)

- ・ 平均線量率： μ Sv/h

(【10分間値】 最大値 _____ μ Sv/h 最小値 _____ μ Sv/h)

(【1時間値】 最大値 _____ μ Sv/h 最小値 _____ μ Sv/h)

ノイズ等の原因によりはずれ値が出てくる場合があります。はずれ値と思われるデータがある場合には、はずれ値を含むものと、除外して計算したものの両方を表示しています。)

○はずれ値がある場合の表示

※ノイズが原因と思われるはずれ値がありました。該当のデータは以下のとおりです。

月 日 () 時 分 線量率 μ Sv/h

月 日 () 時 分 線量率 μ Sv/h

月 日 () 時 分 線量率 μ Sv/h

・

・

・

※はずれ値を除外した値

- ・ 2週間の積算線量：_____ mSv (電池切れ等により測定できなかった分は除いて積算しています。)

(年間線量：mSv)

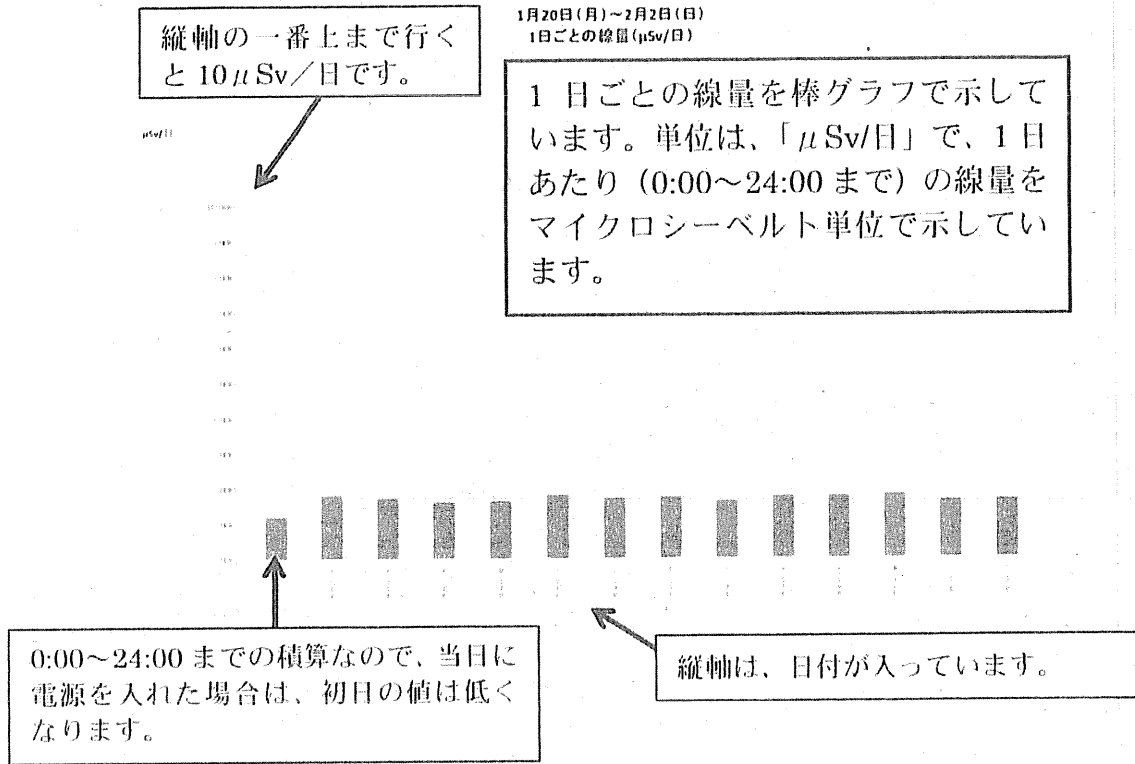
- ・ 平均線量率： μ Sv/h

(【10分間値】 最大値 _____ μ Sv/h 最小値 _____ μ Sv/h)

(【1時間値】 最大値 _____ μ Sv/h 最小値 _____ μ Sv/h)

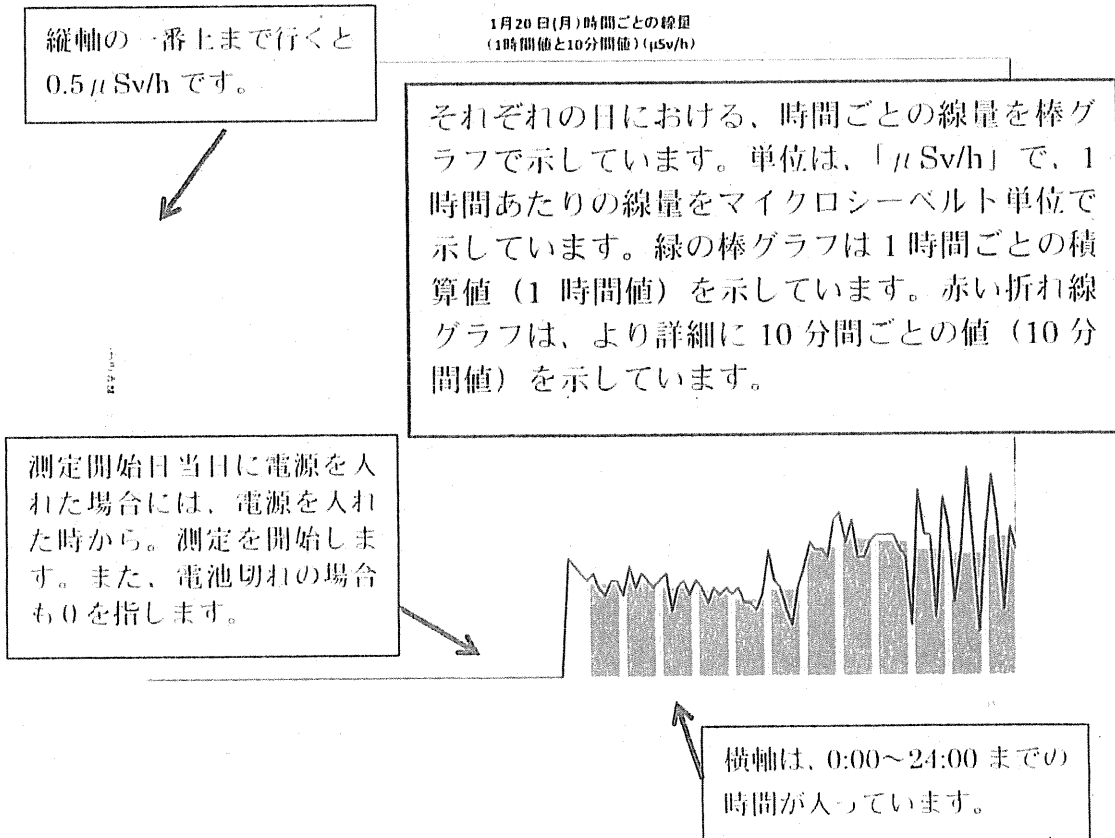
2) 日ごとの線量

(例)



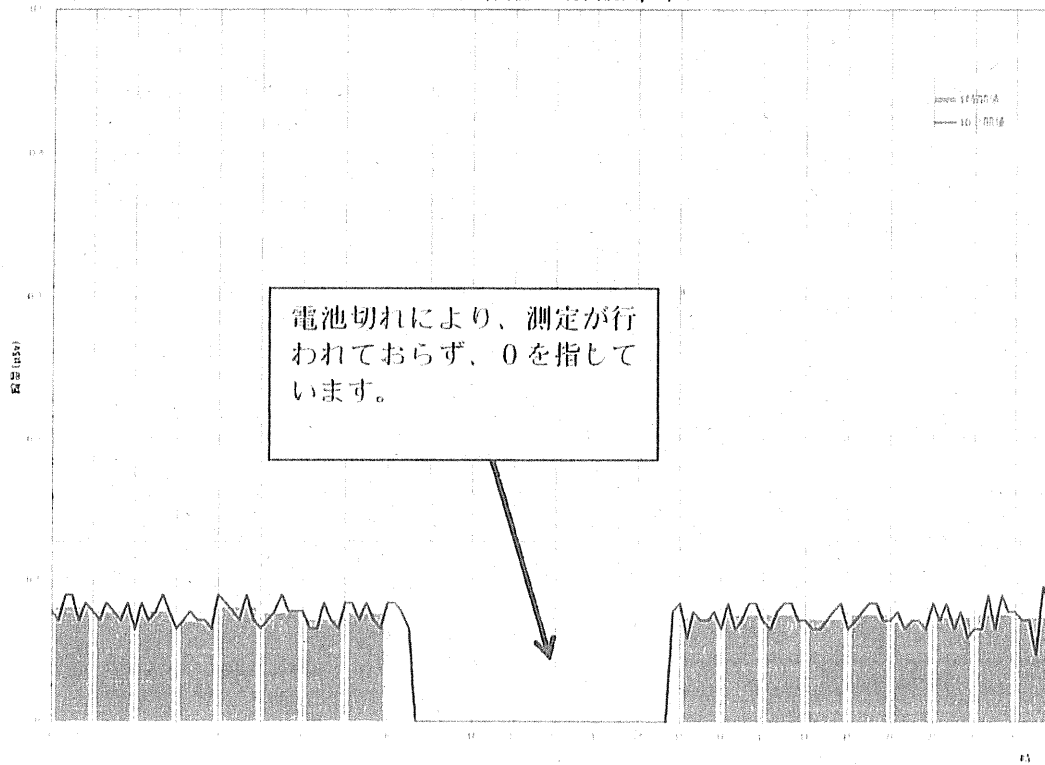
3) 時間ごとの線量

(例1)



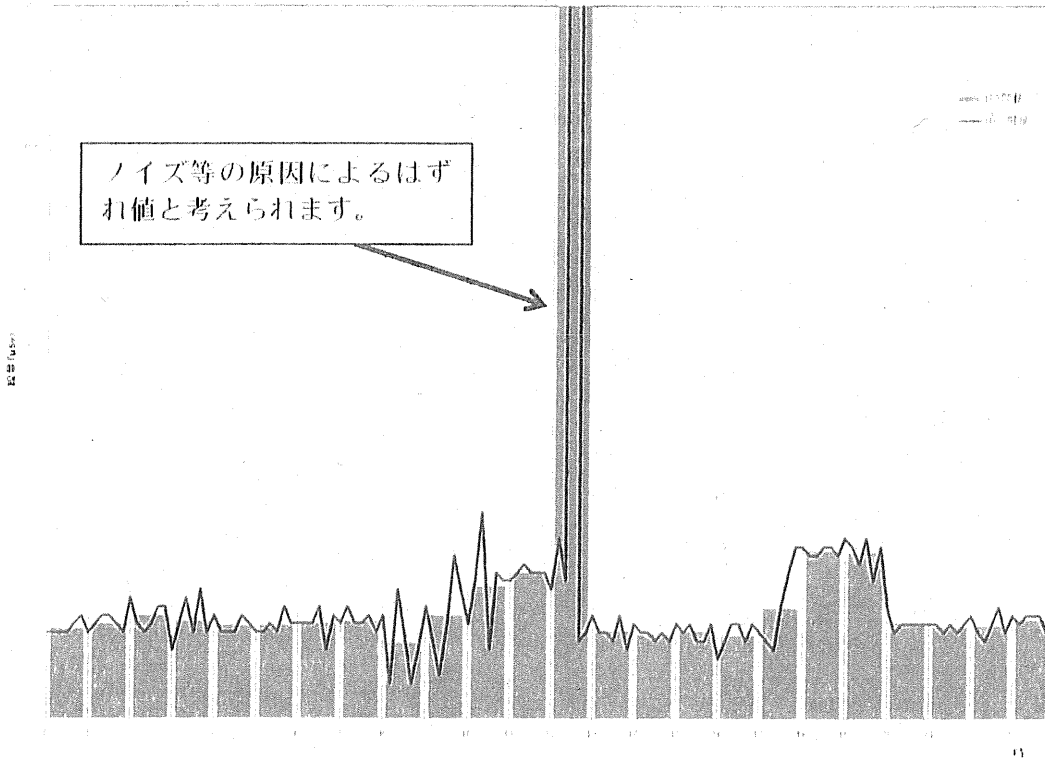
(例2)

1月22日(水)時間ごとの線量
(1時間値と10分間値)($\mu\text{Sv/h}$)



(例3)

1月30日(木)時間ごとの線量
(1時間値と10分間値)($\mu\text{Sv/h}$)



3. はずれ値について

全体として時間ごとの線量が分かる線量計を付けても行動による差はわずかですが、何人かには、大きな値が瞬間的に見られました。その際に特別なことをしていなければノイズと判断して良いと考えられます。原因は衝撃や、携帯電話、防災無線等、様々なものが考えられます。また、病院内で発生している場合は、レントゲン撮影やR I 投与患者との接近なども考えられます。

4. 電話相談窓口について

調査結果についてのご相談は、下記の電話相談窓口で受け付けております。電話相談窓口の電話番号は、以下のとおりです。

《線量把握モデル事業 電話相談窓口》
電話番号 0120-466-559 (フリーダイヤル)
(平日 10:00~17:00 受付 土日祝除く)